

# 令和2年度 学校安全総合支援事業（学校安全体制の構築）の最終報告

学校名 （ 大分県立日田支援学校 ）

## 1 学校の情報

### (1) 学校規模 （令和3年2月1日現在）

児童生徒数 38名

小学部	中学部	高等部	合計
15名（1名）	9名	42名	66名（1名）

※（ ）は訪問教育児童生徒

職員数

小学部	中学部	高等部	管理職・事務職員等	合計
16名	11名	27名	8名	66名

※育休等の職員含む

### (2) 分掌の位置づけ

- ・防災教育コーディネーター1名、防災教育担当教員2名
- ・今年度のみ生徒指導部から独立。次年度以降は生徒指導部に所属となる。

### (3) 地域環境

日田市は水害が多く、平成24年・29年、令和2年の豪雨で被災している。

また本校は、有田川と石松川に挟まれた場所に位置し、地域の指定避難所及び福祉避難所として市と協定を結んでいる。校区は福岡県朝倉市・日田市・玖珠町・九重町と広域であり、その範囲内に浸水想定区域・土砂災害警戒区域が存在している。






## 2 取組のポイント


本校は通学域が広く、また豪雨による災害の危険性が高いことから、防災教育コーディネーターを中心に以下の取組を行う。

- ①児童生徒が自分の身を守ることができるようになることを目指し、防災教育として、通学路点検や居住地避難所の確認、防災の視点を取り入れた授業や行事等を行い、実施記録を集める。
- ②児童生徒とともに学ぶことを通じて保護者の防災意識を高めるために保護者に備蓄食の試食や防災の視点を取り入れた授業の参観、引渡し訓練等の協力を依頼し実施する。
- ③教職員の災害に対する危機管理意識の向上や校内体制の整備を図るため、また、防災教育の考え方や進め方について教職員の知識・指導力を高め、実践的な対応力を高めるために、防災研修や訓練を実施する。
- ④地域住民とともに避難所体験を実施することによって、地域との連携を図り、避難所運営に関する体制について協議をすすめる。

### 3 具体的な取組

月	日	実施事項	関係者等
4	3	通学路・スクールバスのバス停の安全点検・記録 	教員
		事業実践打合せ：教育庁学校安全・安心支援課と打ち合わせ	管理職・防災コ
	6	防災全体研修①：今年度の事業計画について説明	教職員
	21	地震火災避難訓練：アドバイザー 木ノ下 勝矢 氏 ・地震発生時の対応に関する研修の後、ブラインド訓練を実施 	教職員 ※新型コロナウイルス感染症による休校中のため、教職員のみで実施
5	11	防災に関するアンケート実施	保護者
	13	地震火災避難訓練事後反省会：本校会議室	防災本部
	中旬	児童生徒宅位置・避難所の安全点検	各担任
		防災学習の呼びかけ・防災キャラクター名前募集・発表 	児童生徒
	15	防災全体研修② ・大雨等緊急時対応について各班の役割分担確認と準備	教職員
6	19	防災タイムライン研修：講師 冷川 善幸 氏 ・管理職向けに「学校防災タイムライン」研修を実施	管理職・主幹教諭・防災コ
	9	防災タイムライン研修：講師 冷川 善幸 氏 ・教職員向けに「マイタイムライン」研修を実施 	教員
	17	防災教育コーディネーター研修会：大分県庁	防災コ
	17	実践委員委嘱状発行	実践委員
7	2	第1回実践委員会：今年度の事業計画を説明	実践委員

	<p>17 保護者引渡し訓練（期末PTAの午後に実施）  ・引渡し窓口の手順（身元確認・写真撮影・避難先の安全確認）  ※ハザードマップで避難先の安全を確認して引渡しをする。</p> 	児童生徒・保護者・教職員
13	防災教育モデル実践事業検討会議：県庁	防災コ
27	スクールバス緊急時対応訓練事前打合せ：本校プレイルーム	防災本部・生徒指導部・保健部・スクールバス会社・運転士・介助員
28 29	普通救命講習 講師：日田玖珠広域消防本部職員 	教職員
31	スクールバス緊急時対応訓練・事後反省会 	防災本部・生徒指導部・保健部・スクールバス会社・運転士・介助員・消防署・警察署
8 3 4	先進校視察：岡山県立倉敷まきび支援学校 リモート形式で実施 3日：金島 一顕 副校長、4日：金島 一顕 副校長・守屋氏 	防災コ・防災担当教員
21	学校安全（心肺蘇生法）研修会：大分市中央消防署	教頭
24	先進校視察還流報告	教職員
29	親子防災デー：授業参観・親子合同参加授業・備蓄食試食・保護者講演会『災害時に支援を必要とする方の避難・備えについて』 	児童生徒・保護者・教職員
9 24 25	学校防災士養成研修：教育会館	教頭
29	交通安全教室：講師 日田警察署生活安全課・交通安全協会	児童生徒・教員

			
10		学校評価アンケート実施	教職員・保護者
	20	避難所に関するアンケート実施	保護者
11	4	第1回久大地区高等学校防災教育推進地域会議：大分県立日田林工高等学校	防災コ
	5	地震避難訓練 ・緊急地震速報端末を利用した訓練を実施	児童生徒・教職員
	10	第2回実践委員会 ・中間報告 ※会議の裏で教職員に災害VR体験を実施 (講師 レスキューサポート九州 轟氏)	実践委員
	12	第1回防災教育推進委員会：大分県教育センター	防災コ
12	4	研究発表会（リモート開催） ・先進校視察還流報告、今年度の事業報告、 ・全体講演：講師 湯井 恵美子 氏 『みんなで助かるために～福祉×防災×コミュニティ』	教職員・学校関係者・施設等関係者
			
1	29	火災対応訓練 講師 日田消防署員 ・火災の初動対応と屋内消火栓の使用方法について訓練を実施	教職員
			
	29	学校安全指導者研修会、全国成果発表会：リモート参加	防災コ
2	10	生徒会：ビデオ視聴 ・防災ポスターのお知らせ・振り返りをしよう	児童生徒
			
	20	水防法『避難確保計画』の提出：日田市防災・危機管理課	管理職
	12	第2回防災教育推進委員会：教育センター	防災コ
	22	第3回実践委員会 ・最終報告	実践委員

・授業例

学部	教科等	題材名
小学部	学活	『忍者ごっこ』『みずから(水から・自ら)まもろう』『命を守ろう～地震・火災』『緊急地震速報訓練』
	遊び	『あったかあそび』
	図工	『段ボールでトンネルやベッドを作ろう』
	国語	『お父さんと自分の名前を言おう』『自分とお家の人の名前を言おう』
中学部 +学習発表会	生活単元学習	『大雨から身を守ろう』『防災グッズを使ってみよう』『家の人と一緒に水の中を歩いてみよう』『ハザードマップで調べよう』
	学活	『地震から身を守ろう』
	美術	『防災ポスターを作ろう』
	国語	『自分の事を伝えよう』
	職業・家庭	『快適な住まい方』『食事の役割』
	保健体育	『水の中を歩こう』『水に浮こう』『またいだりくぐったりしてみよう』
高等部	生活単元学習	『防災グッズを体験しよう』『避難所を制作しよう』 『防災行政無線について知ろう』
	総合	『防災マップを作ろう』
	HRA	『水の中を歩こう』『ハザードマップを作成しよう』『マイタイムラインを作ろう』『避難所設計図を作成しよう』『情報収集や避難経路について』『避難の方法を考えよう』『備蓄食・ゴミの分別をしよう』
	家庭科	『備蓄食リストを作ろう』『ゴミの分別について』 『TPOに応じた服装を考えよう』
	保健体育	『着衣泳をしよう』
	数学	『雨が降る仕組みと降水量について』
	日常生活の指導	『天気予報を伝えよう』
	自立活動	『選んで伝えよう』
全校	生徒会	『防災について知ろう』・防災キャラクター名前募集・発表
	行事	親子防災デー
	生徒会	『防災の振り返りをしよう』

## 4 取組における成果と課題

### (1) 成果

- ①全児童生徒の自宅・避難所の安全点検記録をハザードマップに記し、個人ファイルに綴じて次年度に引き継げるようにした。また、防災に関する授業を実施し、児童生徒一人ずつに『安心ファイル』を作成することができた。そして10月に高等部生徒に実施したアンケートで、94%が「大雨などの災害の時に、自分の命を守る学習ができた。」と回答した。
- ②保護者とともに防災について学ぶ機会として『親子防災デー』を実施することができた。また、緊急時引渡し訓練に保護者とともに取り組むことができた。そして、10月に保護者に実施したアンケートで、90%が「学校は、防災意識を高める学習に取り組み、『自分の命を守る力』を育てている」と回答した。
- ③教職員に対して防災に関する研修や訓練を実施することができた。10月に教職員に実施したアンケートで、93%が「学校は、防災体制づくりに組織的に取り組み、安心・安全な学校づくりに努力している。」と回答し、また、28.6%が「今年度、防災教育は必要だと思うようになった。」と回答し、「以前から必要だと思っている」(71.4%)と合わせて100%が防災教育の必要性を感じることができた。
- ④地域と合同の避難所体験は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、未実施とした。

### (2) 課題

- ・避難所の開設・運営の在り方について、検討委員会を設置し協議を進める。
- ・学校安全に関する教職員研修や、実践的な訓練を行うための計画をつくる。
- ・防災教育に継続して取り組める仕組みをつくる。

## 5 今後の取組の見通し

- 2月 避難所開設・運営に関する意見交換会の開催
- 2月 次年度のスクールバス緊急時対応訓練、親子防災デーの計画案の作成
- 3月 授業実践事例集の作成
- 3月 学校安全計画・危機管理マニュアルの改訂